

健幸都市くさつの推進に向けて

～令和2年度の健幸都市づくり推進事業の主な取組～

令和2年3月4日
草津市



草津市健幸都市宣言および草津市健幸都市基本計画の策定について

本市では、平成28年8月に「草津市健幸都市宣言」を行い、だれもが生きがいをもち健やかで幸せに暮らせる健幸都市づくりを推進するため平成29年3月に、「草津市健幸都市基本計画」を策定いたしました。

草津市健幸都市宣言

生涯にわたって心も体も健やかで幸せに過ごせること

これはわたしたち共通の願いです

心身の健康には 自分の状態を知ること 適度な運動と休養

バランスのとれた食事など 一人ひとりの取組が大切です

美しい自然や 住みやすい都市環境も大切です

そして ともに住む人と人との絆や協働も大切です

くさつは いにしえから 東海道と中山道がまじわる交通の要衝

宿場町として栄えてきました

人と人が出会い 心と体を休め 旅の疲れを癒してきました

琵琶湖・田園などの豊かな自然環境もあり

そこから得られる 恵みも豊富です

今を生きるわたしたちも この地で 出会いと自然に感謝しながら

住み続け 訪れることで 健幸になれるまちを

ともに創造していきましょう

草津市は 生涯にわたって 一人ひとりが自らの健康を大切にし

ともに支え合い ここに暮らすことによって

絆や喜びが生まれ 幸せが感じられる

笑顔あふれるまちを目指して

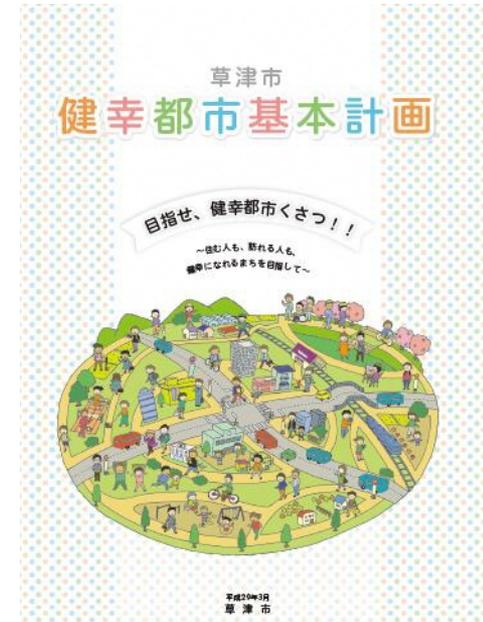
ここに「健幸都市くさつ」を宣言します。

平成28年8月28日 草津市長 橋川 渉

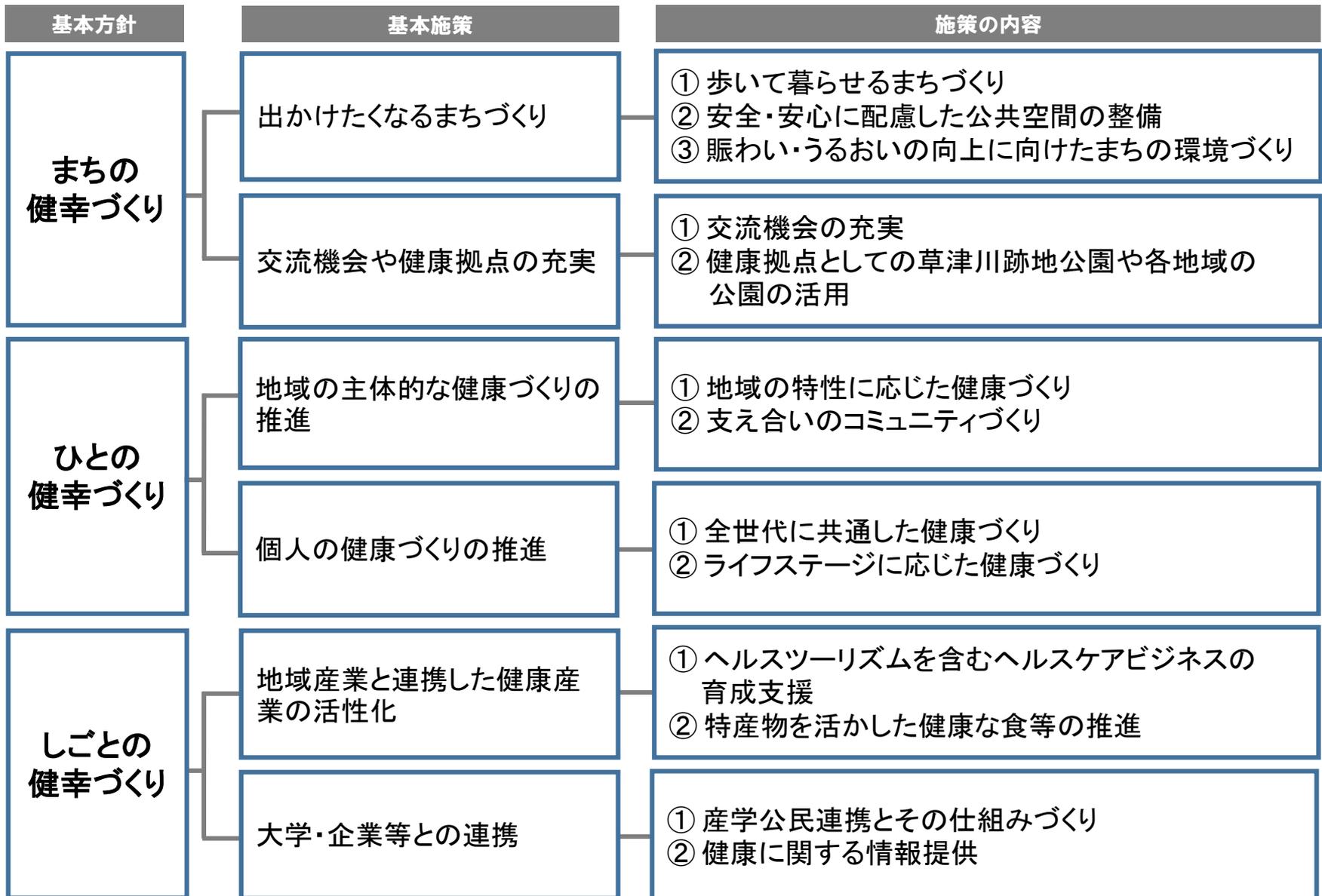
草津市健幸都市基本計画

- 「第5次草津市総合計画」を上位計画とし各種関連計画との整合を図りながら、市の様々な関連計画を健幸の側面から捉え、健幸都市実現のための取組を連携・強化していく計画です。

- 「草津市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を踏まえ、本計画においても「まち」「ひと」「しごと」を切り口に、健幸づくりの取組を定めています。
- 計画期間は、平成29から平成34年度までの6年間です。



健幸都市基本計画の体系



草津市健幸都市基本計画

基本
施策
基本方針

《まちの健幸づくり》

- (1) 出かけたくなるまちづくり
- (2) 交流機会や健康拠点の充実

《ひとの健幸づくり》

- (1) 地域の主体的な健康づくりの推進
- (2) 個人の健康づくりの推進

《しごとの健幸づくり》

- (1) 地域産業と連携した健康産業の活性化
- (2) 大学・企業等との連携

各施策ごとの令和2年度の主な取組

- ①(仮称)草津市立プール整備費
 - ②公園への健康遊具の設置
 - ③野村運動公園グラウンド大規模改修費
 - ④グリーンスタジアム大規模改修費
 - ⑤(仮称)市民総合交流センターの整備
 - ⑥健幸フェア開催費
 - ⑦まめタク実証運行費
- など

- ①幼児の運動遊びプログラムモデル事業
 - ②高齢者フレイル予防事業費
 - ③認知症施策推進費
 - ④在宅医療・介護連携推進事業費
 - ⑤くさつランフェスティバル開催費補助金
 - ⑥働き方改革推進費
- など

- ①健幸都市くさつ広報・啓発
 - ②第4次男女共同参画推進計画策定費
 - ③草津市版ヘルスツーリズム事業費補助金
 - ④アーバンデザインセンター(UDCBK)運営費
 - ⑤地域課題解決応援交付金
- など

健幸都市づくり関連事業の令和2年度の取組について【まちの健幸づくり①】

従来からの健康施策の枠組みを越え、ハード面からも健康づくりに取り組みます。

① (仮称)草津市立プール整備費

(仮称)草津市立プール整備計画地



第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会の水泳競技会場として、また大会後も「スポーツ環境の充実」「新たなにぎわいの創出」「スポーツ健康づくりの推進」を図るための施設として、整備を進めます。

【予算額】

449,290千円

② 公園への健康遊具の設置



都市公園等の緑のある空間を活用し健康遊具を設置することで、子どもから高齢者まで市民の誰もがいつでも気軽に訪れ、健康づくりが行える拠点として公園整備を行います。

【予算額】

5,000千円

③ 野村運動公園グラウンド大規模改修費

野村運動公園グラウンド防球ネット



第79回国民スポーツ大会の競技会場として内定しているソフトボール競技の実施に向けて、施設改修を行う必要があることなどから、グラウンド防球ネット等の改修工事を行います。

【予算額】

263,065千円

④ グリーンスタジアム大規模改修費

現在のスコアボード



ワールドマスターズゲームズ2021関西(ソフトボール)や、第79回国民スポーツ大会に向けて、整備後約20年が経過し老朽化が進んでいるスコアボード改修工事を行います。

【予算額】 201,509千円

従来からの健康施策の枠組みを越え、ハード面からも健康づくりに取り組みます。

⑤ (仮称)市民総合交流センターの整備



定期借地権方式による民間活力を活用し、公民の複合施設として整備する(仮称)市民総合交流センターについて、令和2年度は、民間事業者による工事の進捗を図るとともに、令和3年5月に予定している施設の供用開始に向けて、関係者と必要な検討・調整を行います。

【予算額】
41,381千円

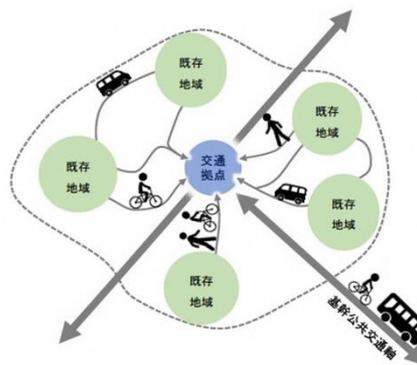
⑥ 健幸フェア開催費



草津川跡地公園を活用して、より多くの市民へ健幸づくりの重要性を発信し、健幸づくりを楽しむ契機となる健幸イベントを開催します。

【予算額】 1,280千円

⑦ まめタク実証運行費



バス交通空白地・不便地における地域住民の移動手段を確保するため、デマンド型乗合タクシー「まめタク」の実証運行を行います。

【予算額】
3,422千円

健幸都市づくり関連事業の令和2年度の取組について【ひとの健幸づくり①】

地域と個人の視点から、健康づくりに取り組みます。

① 幼児の運動遊びプログラムモデル事業費



幼児教育を専門としている大学教授との連携や外部講師等を活用し、幼児の運動能力の実態を把握した上で、幼児期の発達や特性に応じた運動遊びの実践と効果検証を行い、幼児期の心身の健やかな成長を育みます。

【予算額】 1,130千円

② 高齢者フレイル予防事業費



高齢者の保健事業や介護予防事業の効果的かつ一体的な取組を進めるため、関係部局の連携体制を整えるとともに、企画調整担当職員を配置し、高齢者の健康づくりを一層推進します。

【予算額】
7,049千円

③ 認知症施策推進費

認知症があっても安心なまちの実現



誰もが認知症を「我が事」と受け止め、認知症があっても安心して生活できるまちづくりに向けて、認知症シンポジウムの開催や「草津市認知症施策アクション・プラン」第3期計画の策定、認知症個人賠償責任保険事業を行います。

【予算額】 2,854千円

④ 在宅医療・介護連携推進事業費



地域における医療・介護の関係機関が連携して包括的・継続的な在宅医療・介護を提供することができるよう、市内の関係機関の連携を推進するための拠点を新たに設置し、医療連携や多職種連携の体制強化を図ります。

【予算額】
13,147千円

地域と個人の視点から、健康づくりに取り組みます。

⑤ くさつランフェスティバル開催費補助金

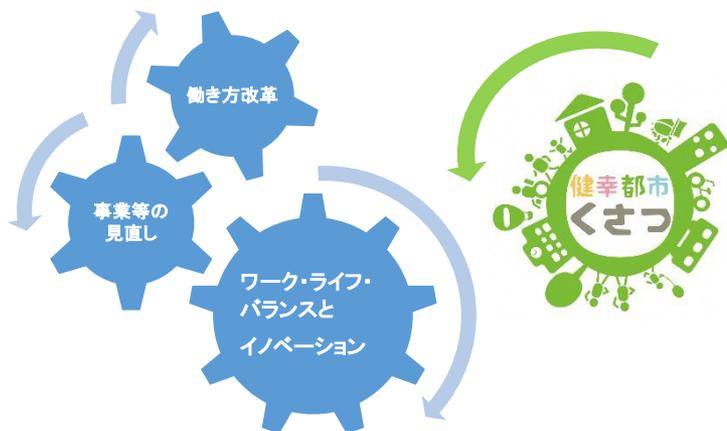


誰もが気軽に参加し楽しめるランニングイベントである「健幸都市くさつランフェスティバル」の開催に向け、民間事業者主体で構成する「くさつランフェスティバル実行委員会」に対して支援を行います。

【予算額】2,000千円



⑥ 働き方改革推進費



滋賀県および県内市町と連携し、ICTの活用施策の検討や実証等の取組を進めます。

また、新技術の活用による業務の効率化や職員の業務負担の軽減を図るとともに、引き続き在宅勤務(テレワーク)をはじめとする多様な働き方の推進や、意識改革に向けた取組を進めます。

【予算額】
10,819千円

産学公民が連携し、健康になれるまちづくりを進めます。

① 健幸都市くさつ広報・啓発



啓発横断幕(令和元年度制作)

健幸都市の知名度向上・啓発のため、チラシ・のぼり旗等の啓発物品を制作し、活用を進めます。地道な啓発活動を行うことにより、健幸都市の知名度向上に努めます。

【予算額】
150千円

② 第4次男女共同参画推進計画策定費



国・県の動向や社会経済情勢の変化、男女の働き方、ライフスタイルの変化等に対応するため、令和元年度に実施した基礎調査結果を踏まえるとともに、男女共同参画審議会の意見を聞きながら策定を進めます。

【予算額】
3,154千円

③ 草津市版ヘルスツーリズム事業費補助金



健幸と観光を掛け合わせた着地型観光である草津市版ヘルスツーリズムを実施する草津市観光物産協会へ補助を行います。

【予算額】
576千円

産学公民が連携し、健康になれるまちづくりを進めます。

④ アーバンデザインセミナー等開催費



産学公民の多様な主体が気軽に集い草津の未来のまちづくりについて話し合う場であるアーバンデザインセンターびわこ・くさつ(UDCBK)をプラットフォームとして、健幸都市づくりに関するテーマについてのアーバンデザインセミナー等を実施します。また、都市が持つ課題を共有し、出されたアイデアの実行に向けて社会実験準備事業等を行います。

【予算額】

2,141千円

⑤ 地域課題解決応援交付金



「地域課題解決応援交付金」は、各まちづくり協議会を中心に住民を主体とし、自らの地域の課題を自ら洗い出し、その解決に向けた事業を効果的に実施していただくために交付するものです。

計画策定段階から、まちづくり協議会に対する市のサポート体制を強化し、市と地域との協働により、地域の課題解決に取り組みます。

【予算額】

21,000千円